

※ 参 考

○ 新庁舎への集約を想定する公用施設一覧

庁舎等名称	1. 本庁舎	2. 保険棟	3. 共済会館	4. 分庁舎 (教育委員会棟)	5. うずしお会館	6. 水道会館
建 築 年	昭和38年 (築55年)	平成3年 (築27年)	昭和48年 (築45年)	昭和59年 (築34年)	昭和59年 (築34年)	昭和58年 (築35年)
耐震性能	なし (I s 値=0.47)	あり (耐震診断未実施)	なし (I s 値=0.28)	あり (耐震診断未実施)	あり (耐震診断未実施)	あり (耐震診断未実施)
延床面積	4,312.00㎡	649.90㎡	1,769.30㎡	1,121.31㎡	2,139.52㎡ (他用途部分を除く)	1,865.23㎡
階 数	3階建て	2階建て	3階建て	2階建て	5階建て (3・5階は他用途 施設として使用)	3階建て
建物構造	鉄筋コンクリート造	軽量鉄骨造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
標準 耐用年数	60年 (～平成35年)	40年 (～平成43年)	60年 (～平成45年)	60年 (～平成56年)	60年 (～平成56年)	60年 (～平成55年)
入居する 部署等	企画総務部（情報化推進室を除く）、市民環境部（環境局を除く）、福祉事務所、会計課、議会事務局、阿波銀行出張所、法務局出張所	保険課、長寿介護課	情報化推進室、人権推進課、経済建設部（公園緑地課及び経済局を除く）、職員組合	教育委員会、監査委員事務局	経済局、選挙管理委員会事務局	水道企画課、水道事業課
入居する 職員数 ※ 特別職・非正規含む	196人	47人	57人	60人	37人	19人
駐 車 場	公用車用	75台		7台	9台	16台
	来庁者用	108台（利用者の少ない共済会館南側駐車場を除く）		10台	20台	4台
	職員用	文化会館北側駐車場 220台、新池駐車場		30台		30台

庁舎等名称	7. 旧堀部邸	8. 旧鳴門簡裁	9. 立岩倉庫	10. 旧教育委員会棟
建築年	昭和42年 (築51年)	昭和39年 (築54年)	昭和49年 (築44年)	昭和54年 (築39年)
耐震性能	なし (耐震診断未実施)	なし (耐震診断未実施)	なし (耐震診断未実施)	なし (耐震診断未実施)
延床面積	132.61㎡	287.04㎡	864.00㎡	1,332.00㎡
階数	2階建て	2階建て	2階建て	4階建て
建物構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造軽 量鉄骨造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造
標準 耐用年数	60年 (～平成39年)	60年 (～平成36年)	60年 (～平成46年)	60年 (～平成51年)
入居する 部署等	—	—	—	—
入居する 職員数 ※ 特別職・非正規含む	—	—	—	—
駐 車 場	公用車用	—	—	—
	来庁者用	—	—	—
	職員用	—	—	—

「鳴門市公共施設等総合管理計画」に掲げる基本目標「今後40年間に公共施設の総延床面積を20%以上削減」の達成に向け、公共施設の建替え・集約にあたって遵守すべき延床面積への制約は、以下のとおり。

- ① 公共施設の建替え時には、従来施設から5%以上の延床面積の縮減を図る。
- ② 公共施設を集約する場合、集約される側の施設に関しては、従来施設から25%以上の延床面積の縮減を図る。

- ・集約する側となる「1. 本庁舎」
 $4,312.00\text{㎡} \times 0.95$
 $= 4,096.40\text{㎡} \cdots \text{①}$
- ・集約される側となる「1. 本庁舎」以外
計 $10,160.91\text{㎡} \times 0.75$
 $= 7,620.68\text{㎡} \cdots \text{②}$

$$\text{①} + \text{②} \\ 4,096.40\text{㎡} + 7,620.68\text{㎡} \\ = 11,717.08\text{㎡}$$

10施設を集約した場合の目標延床面積は約12,000㎡となります。

延床面積が当該面積以下となることを目指す一方で、執務環境の狭小化や必要機能の付加などを考慮しつつ、これからの時代に求められる庁舎像に沿った面積算定を行う必要があります。

公用車用駐車場：107台
来庁者用駐車場：142台
職員用駐車場：280台 計529台
※ 周辺有料駐車場の利用台数は約70台